

月寒のまちづくりビジョンを進めるスタートアッププロジェクト

1 ホームページ(月寒ポータルサイト)の制作(基本方針①・⑤)

月寒のまちの情報を集約し、広く知ってもらうための入口となるホームページ(ポータルサイト)を制作します。ホームページは、月寒のまちの魅力、イベントやまちづくり活動のお知らせ、月寒の歴史を知ってもらうサイトを設け、広く月寒の歴史を知ってもらうようにします。

また、Facebook(フェイスブック)やInstagram(インスタグラム)などのSNSも連動させて、広く情報を発信できるようにするとともに、新たな形で人のつながりができるようにします。

ホームページは、町連や関連機関とともに推進チームを構成し、制作・運営します。

2 子どもや若い世代の参加によるワークショップ・まちづくり活動(基本方針②・③)

子どもや若い世代の参加によるワークショップを開催し、若い世代のニーズにあったまちづくりを推進します。これらのワークショップから生まれたまちづくりを進めることで、にぎわいや活気をつくり、子育て世代のニーズにあったまちづくりを進めます。

ワークショップで出された意見やアイデアを実践するまちづくり活動を、町連が支援し、ワークショップ参加者もまちづくり活動に参加してもらうことで、子どもや若い世代に月寒のまちに愛着を持ってもらえるようにします。

3 ひとのつながり・多様なコミュニティを育むプレゼン型まちづくり活動(基本方針②・③・④)

町連も単位町内会も担い手不足に悩んでおり、新しい活動を進めることが難しい状況にあります。一方、ワークショップでは、ひとのつながりや多様なコミュニティ活動によってにぎわいを創出する取組について、多くのアイデアや意見が出されました。

そこで、目指す姿を実現するために、さまざまなコミュニティのグループなどからまちづくり活動の提案を募集し、その提案に対して町連が支援する仕組みを作ります。これにより、多様化するニーズに対応するとともに、町内会活動の担い手育成にもつなげます。

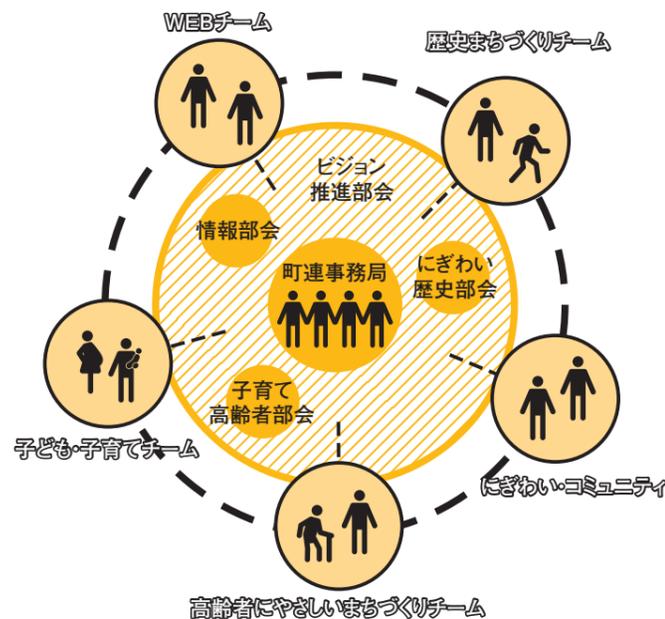
月寒のまちづくりの推進体制

多様なチーム・団体と連携してまちづくりを推進

目指す姿を実現するためには、ビジョンに基づいたまちづくり活動のチームや団体などと協力・連携しながら進めていく必要があります。

町連では、ビジョン推進に向けた体制作りや関係機関との調整、まちづくりを進めるプロジェクトチームのコーディネートを行い、まち全体が一丸となってビジョンに向けたまちづくりを推進していきます。

また、他団体との連携を通じて、新たな担い手発掘も行います。



2031 月寒まちづくりビジョン

ビジョン策定の目的

月寒地区町内会連合会(以下「町連」)では、これまで10年ごとに周年記念事業を行い、10年を一つの区切りとして、歴史を振り返りながらまちづくりに取り組んできました。

2021年度をもって50周年を迎え、これまでの課題を整理し、この先の10年後を見据えた月寒のまちの目指す姿とその実現のための活動方針をまとめた「2031月寒まちづくりビジョン」(以下「ビジョン」という。)を策定しました。このビジョンを地域全体で共有し、月寒のまち全体が一丸となって誰もが健康に生き生きと暮らすことができるまちづくりを目指します。



ビジョン策定のプロセス

「2031月寒まちづくりビジョン」の策定にあたっては、まちづくりの方向性を検討する町連主体の意見交換会を開催し、その結果に基づき議論のテーマを設定して地域の方々にアイデアを出してもらうワークショップを開催しました。ビジョンは、これらの意見交換会、ワークショップで出された意見やアイデアをもとに、町連で検討し策定しました。

町連主体の意見交換会

2020年(令和2年)3月24日

テーマ：月寒町連の目指す姿を考えるために、将来のまちのイメージを考える

ワークショップのテーマなどを検討

第1回ワークショップ

2020年(令和2年)10月8日

テーマ：10年後の月寒町連が目指す「まちの姿」と「実現するための取組」
(歴史を知り・学ぶまち、にぎわいと活気のあるまち)

ビジョンの取りまとめ

第2回ワークショップ

2020年(令和2年)11月27日

テーマ：10年後の月寒町連が目指す「まちの姿」と「実現するための取組」
(子育てしやすい・子どもにやさしいまち、高齢者にやさしいまち)

2031月寒まちづくりビジョン

意見交換で出された目指す姿

① 人とのつながりがあるまち

(情報でもつながるまち)

② 歴史を知り・学び愛着を育てるまち

③ にぎわいと活気あるまち

④ 子どもを育むまち

⑤ 高齢者にやさしいまち